

# チェルノブイリ通信

発行：「チェルノブイリ支援運動・九州」事務局

連絡先：北九州市小倉南区徳吉東 1-13-24

TEL・FAX 093-452-0665

口座番号：福岡7-65328

加入者名：チェルノブイリ支援運動九州

■■■■■■■■■■  
■ No.20 ■  
■  
■ 1993年7月1日 ■  
■■■■■■■■■■



ベラルーシ・子供アンサンブル

ドウダルカ

「チェルノブイリ通信」No.20号をお届けします。第二次調査団報告集はいかがだったでしょうか。早速、文通がしたいのですが、という問い合わせがいくつかありました。7月8日ぐらいまでに手紙を送って頂ければ、ベラルーシまで持参します。写真なんかもあればもつといいと思います。「かわら版」で送るために人海戦術で「帳合い・製本」作業を行いましたが、とんでもない作業でした。作業があるとも知らずにはるばるやってきた熊本の皆さん、お疲れ様でした。こんな作業は二度とすることはないでしょう。

さて、支援運動の方はチェルノブイリ第三次調査団派遣、ベラルーシ子供アンサンブル「ドウダルカ」の8月招待と、いよいよ暑い夏を迎えようとしています。そこで今回通信はそれらの状況報告が中心になります。

### 第三次調査団が出發します。

今回は7月11日から21日までの10日間の派遣となりました。総勢6名の調査団です。メンバーを紹介します。

今回初めての参加となるのは、宮崎県日南市から宝蔵さん、昨年まで事務局に在籍していた河上さん（現在仕事の関係で川崎市在住）、そして今回二回目の訪問となるのが、前回、団長として参加した中村さん（北九州市）、二年前に参加した河野さん（別府市）と私、そして通訳という大任を再び背負うことになった菊川さん（福岡市）の6人です。

持参する支援物資は、血液分析器2台、自動血球計測機1台（日本ロシエより購入、寄贈）、医薬品（試薬）やビタミン剤と放射能測定器2台、計950万円相当の医療機器とサナトリウムの運営資金の一部として2万ドルということになりました。医療機器などについてはボランティア貯金からの配分を期待していたのですが、残念ながら今回は出来ませんでした。なぜ不許可になったのか現在理由について問い合わせ中ですが、あれだけ苦労して申請書を作ったのに、と思うと一人で落ち込んでいます。

さて、2年前はまだソ連邦の時代で、支援物資は無料でアエロフロートが運んでくれました。そして連邦は崩壊し、それぞれが独立国家となりました。昨年12月の派遣では、支援物資といえども重量オーバーには超過料金を支払うことになりました。果たして今回はどうなったのでしょうか。

これまでビザの発給業務は在日ロシア大使館が代行していたのですが、今年の3月から出来なくなりました。ベラルーシ行きのビザはモスクワのベラルーシ大使館で取るしかありません。ウクライナについても同じです。しかもロシア語のタイプ打ちでないと書類として受け付けないそうです。そういうわけで今回からロシア行きとベラルーシ行きの二種類のビザ申請を東京とモスクワでしなければなくなりました。ベラルーシ行きのビザ申請書類は、カタログハウスのモスクワ事務所で準備をしてくれますが、それでも次第に不便になっていくような気がします。

【日程】

13:00

7月11日(日)

午後2時成田発、SU~~588~~<sup>590</sup>便でモスクワへ向います。モスクワ着、同日午後7時25分。(モスクワ泊)

6:25

12日(月)

朝一番でベラルーシ・モスクワ大使館でビザ申請。支援物資はモスクワ事務所の車でミンスクに運び、私たちは夜行列車で移動。(ビザ発行が夕方になるだろうということなので)

13日(火)

ミンスクに到着。ヤコベンコさんと打ち合せを行い、サナトリウムへ。

14日(水) 調査活動開始。



- ①、サナトリウム視察、運営状況など
- ②、ファルコルホーズ、りんごやじゃがいもなどを加工するための機械の設置についての検討。
- ③、小児血液病センター、放射線医学センター付属病院、保健局などを訪問
- ④、子供アンサンブル「ドウダルカ」のメンバーとの交流。
- ⑤、モズイリ市へ移動し、地区中央病院
- ⑥、ロジナコルホーズなどを訪問。
- ⑦、カリンカピッチ市へ移動し、サナトリウム一期生たちに報告集を贈呈。
- ⑧、ホイニキ地区、バプチン村、研究所などの視察。
- ⑨、時間が許せばゴメリ市へ移動し、病院などの調査。

菊川さん  
に  
分析結果  
調査項目を

取りあえずこうした行程を考えています。場合によっては、チェルノブイリ原発を外から覗くかもしれません。

7月19日(月)

ミンスクからモスクワへ移動。

20日(火)

モスクワ発午後7時20分、SU575便にて日本へ。

21日(水)

午前9時40分、成田着。夕方までには帰宅予定。

ベラルーシ・子供アンサンブル  
「ドウダルカ」九州・山口公演日程

8月15日、来日 宿泊 福岡市。

16日、お休み、福岡市内観光、

宿泊 福岡市

17日、福岡市中央市民センターにて公演、宿泊 福岡市

☎ 092・884・1321 (姉川)

18日、北九州市立響ホールにて公演、宿泊 北九州市

☎ 093・452・0665 (深江)

19日、佐賀市美術館ホールにて公演、宿泊 佐賀市

☎ 0952・31・5734 (伊藤)

20日、長崎市平和会館にて公演、

宿泊 長崎市

☎ 0958・47・1823 (川原)

ヤマト便受取り書は河野さんに

FAXで事前に送っておく

- 21日、キャンプ、熊本県阿蘇  
 22日、キャンプ、鹿児島へ移動。  
 宿泊、鹿児島市  
 ☎ 096・343・2654 (中島)  
 23日、鹿児島市谷山サザンホール  
 にて公演、宮崎へ移動。  
 ☎ 0992・67・5744 (宮路)  
 宮崎市・県医師会館ホール  
 にて公演、宿泊 宮崎市  
 24日、お休み、青島にて海水浴  
 宿泊 宮崎市  
 ☎ 0985・28・2587 (青木)  
 25日、大分市公演 宿泊 大分市  
 ☎ 0977・23・6334 (河野)  
 26日、下関市唐トピアにて公演  
 宿泊 下関市市  
 ☎ 0832・53・4840 (田口)  
 27日、お休み、宗像市周辺観光  
 宗像にてホームステイ  
 28日、宗像市・福岡町公民館ホー  
 ルにて公演 宿泊 宗像市  
 ☎ 0940・43・0374 (伊藤)  
 29日、東京へ移動 宿泊 東京  
 30日、成田からモスクワへ

キャンプへのお誘い!

8月21日～22日を休日をかねてキャンプを計画しました。場所も熊本県阿蘇とちょうど九州のへそにあたります。中々、いっしょに顔を合わせる機会もありますが、こういう機会に参加されてはいかがでしょうか。

※ 宿泊場所 阿蘇百姓村「百姓の家」  
 ☎ 869-22  
 熊本県阿蘇郡阿蘇町赤水天神山630-1  
 ☎ 0967・35・1414

【交流会内容】 (予定)

●8月21日

PM3:00ごろから～

アンサンブル、ミニコンサート

阿蘇赤水の子供たちの催し物と郷土芸能、個人、団体の飛び入りも歓迎

PM6:00～

肥後赤牛のバーベキューパーティー

PM7:00～

盆踊り大会、他

PM8:00頃

お開き。日帰り組を見送る。

宿泊組、子供は花火大会

大人は夜更けまで静かなパーティーが出来ます。

●8月22日

大観望、または草千里を予定。

【交流会への参加費】

大人 (中学生以上) 3500円・但し飲み物は別、生ビールは400円 (中)  
 子供 (小学生以下) 1500円・飲み物は別。

## 【宿泊費】

大人（中学生以上）4500円（朝食付）  
子供（小学生）3000円（朝食付）  
幼児は無料・食事は別途あります。

宿泊希望者が多い場合には、大広間にてザコ寝となります。この料金については未定です。また、寝袋があれば、阿蘇町営ふれあい館にも泊られます。

☆☆ 交流会参加希望のかたは、通信欄に①、大人、子供の別と人数、②、交流会のみか、宿泊希望か、③、さらに、バス・トイレ付き和室（3名位まで）が良い方はその旨明記して、③の方は、宿泊料金もプラスして交流会費をお送りください。締切、7月末日です。

◇◆ 郵便振替 熊本0-58862  
チェルノブイリ基金・くまもと

詳しくは、中島千佐子さんまで。  
☎ 096・343・2654

◆◆ ◆◆ ◆◆ ◆◆  
◆◇ 半年遅れになりましたが、会計報告をお届けします。里親運動を始めて以降、会員が大幅に増えたことや、整理する募金の種類が複雑になったことなど、毎日送られてくる振り替え用紙の整理に追われ、全体の収支報告をするところまでいきつきませんでした。それでもボランティア貯金申請書を作るために、不眠不休の作業を行い、取りあえず第二次調査団派遣前までの整理を行っています。

その後の収支ということでは、12月の派遣で約850万円ほどの支援助資、支援金を持参し、今回約1千万円相当の支援助資、支援金を持参するということになります。

運動の規模が大きくなるにしたがって会員の数も増え、その輪も広がっていくという状況のなかで、事務を処理していくのがますます厳しくなっています。名簿や会計の整理は担当の安部さんが一人で担っている訳ですが、昼間OLをやりながらの作業なので、この3カ月間のオーバーワークは、さすがに堪えているようです。（客観的に私が言っていけないのですが）

みんな仕事をしたり、他に活動を抱えたりしながら事務局に携わっているわけですから、自ずとその活動には限界があります。そして、今その境界線にさしかかっている時期だと思えます。そこで、事務局体制の問題から含めて、検討する時期にきているような気がします。

簡単に言うと、ボランティア的に支えていくには運動が大きくなりすぎて限界にきているということです。今後も息の長い、きめ細かな運動を続けていこうと思うのなら、事務所を構え、半専従の事務局員を置くしかないかな、という気がします。10月ぐらいに第4回目の総会を開きたいと思えますので、ご検討ください。私の方はまだまだ大丈夫なのですが、さすがに受け入れの準備で、多少疲れているかな。

次回通信は、9月になると思います。アンサンブルの件での問い合わせは、それぞれの連絡先までお願いします。

（深江）

チェルノブイリ支援運動・九州  
収支決算 (91年6月26日～92年11月30日)

年 月 日  
(単位：円)

収入の部

摘 要	金 額	摘 要	金 額
[団体] 順不同・敬省略		グリーンコープ生協北九州地方	100,000
R-DANネットワーク「さがんもん」	35,000	チェルノブイリ現地報告会・熊本	316,644
しなやかに脱原発・からつ	238,538	長崎飽ノ浦教会幼稚園	30,000
川内・つゆくさ会	55,000		
グリーンコープ生協・大分	12,126	団体募金件数約48件	
グループ・イーハトーブ	17,000	(小計)	5,991,387
チェルノブイリ救援・えひめ	400,000		
チェルノブイリ支援・佐賀	9,805	[個人による募金]	
チェルノブイリ支援運動・福岡	278,282	91年6月	18,000
ムラサキツユクサの会	10,000	7月	153,080
下関商業高校(西本)	3,000	8月	62,500
原発いらない!チューリップの会	5,000	9月	40,900
原発反対串間市民会議	88,392	10月	45,800
在日大韓基督教・折尾教会	21,300	11月	53,940
杉森女子教職員組合	10,000	12月	101,000
草の根の会	66,000	92年1月	602,088
大名町カトリック教会	13,650	2月	19,290
地球・ファン・クラブ	100,000	3月	16,100
日本婦人会議(宮崎)	18,461	4月	85,691
風通信編集室	4,000	5月	166,800
福田整形外科	6,500	6月	9,000
国際ソロプチミストの会・別府	7,933	7月	41,000
原発プロジェクト	13,723	8月	19,410
京都葵教会	4,788	9月	164,290
二日市ルーテル教会	6,610	10月	434,435
泰星学園生徒会	36,032	11月	155,000
西福岡教会	10,000		
自然といのちを守るネットワーク	20,000	個人募金件数約315件	
グリーンコープ生協みやぎ西部宇部支部	12,055	(小計)	2,193,364
北九州市立中央中学校生徒会	30,000		
コスティン写真展 in 長崎	123,583	[支援運動会費]	
グリーンコープ生協さが	240,575	91年6月～92年11月	287,000
グリーンコープ長岡つたて事務局	6,892		
グリーンコープ熊本協議会	19,733	合 計	8,471,751
チェルノブイリ被災地・広瀬一孝・松山	468,581		
脱原発させば	60,391	前期分繰越金	1,017,850
佐伯連合青年団	36,000		
大分(河野)	242,325	総 合 計	9,489,601
脱原発ネットワーク・八代	8,000		
カタログハウス	1,000,000	91年6月26日～92年11月30日支出	▲2,337,528
チェルノブイリ支援運動・鹿児島	43,750		
チューリップの会	32,600		
グリーンコープ北ブロック	1,673,472		
沖田中学校・生徒会	14,460		
奄美くろさぎ(辻)	33,810		
コスティン写真展・北九州	7,376	来期分繰越残高	7,152,073

チェルノブイリ支援運動 - 九州  
収支決算 (91年6月26日~92年11月30日)

年 月 日  
(単位:円)

支出の部

費目	摘要	金額	費目	摘要	金額
支援物資	医療機器/91年8月 (ミンスク脱離センター医学 部へ贈)	648,900	郵送費	チェルノブイリ 通信発行分	240,720
支援物資	電子ポケット 線量計 (前年度分)	8,240		各地へのチラシ 発送分	68,559
				郵パック発送分	17,150
	小計(A)	657,140	印刷費	印刷用紙代、タ ックシール代、 インク代	99,644
92年9月チェルノブイリ同盟来日に際しての 経費			会議費	会議室使用料	8,500
宿泊費	東京、福岡、宮 崎のホテル代	168,116	通信費	国際電話代、国 際ファックス代	49,720
交通費	航空券、JR乗 車券、移動の為 のガソリン代、 有料道路通行料 他	362,534	事務費	封筒代、領収書 のり、ワープロ 用紙、ゴム印他	65,369
食費	各地の食事代	73,949	活動費	92年10月東京での 会議参加2名	100,000
会議費	会議室使用料	25,797	施設費	コピー機	70,000
雑費	お土産代	70,199		印刷機	100,000
	写真現像代	4,414	振込手数料	郵便振替手数料	27,110
	ロシア語通訳料	105,618		銀行振込料	618
			雑費	写真現像代	21,321
				コピー代	1,050
				小計(C)	869,761
	小計(B)	810,627		支出総計(A+B+C)	2,337,528

Беларускі  
Сацыяльна-Экалагічны  
Саюз "Чарнобыль"

Рэспубліка Беларусь,

220048 Мінск, вул. Мяснікова 39

Тэлефон (0172) 20-39-04

Тэлефакс (0172) 23-90-14



Belarusian  
Socio-Ecological  
Union "Chernobyl"

Republic of Belarus

220048 Minsk Miasnikov street 39

Telephone (0172) 20-39-04

Fax (0172) 23-90-14

To: Mr. Mamoru Fukae  
Assistance Movement to Chernobyl  
Kitakyushu, Japan  
Fax: (093) 452 - 0665

Date: 15.06.93

Dear Fukae-san,

We are pleased to know that your Assistance Movement to Chernobyl delegation is coming to Belarus on business and friendly visit as well as for a charitable purpose.

The Belarusian Socio-Ecological Union "Chernobyl" invites your delegation to Belarus for a period of two weeks from the 10th of July.

The members of the delegation are:

1. Mamoru Fukae - male, 36 years old;
2. Masao Kawakami - male, 41 years old;
3. Ryuichi Nakamura - male, 37 years old;
4. Chikako Kawano - female, 46 years old;
5. Jondi Khozo - male, 41 years old;
6. Kenshi Kikukawa - male, 46 years old.

All the members of the delegation will be provided with accommodation, meals and transportation within the Republic of Belarus, cultural program as well as help in your everyday activities.

We suggest you should draw up visas to Belarus in Japan so as not to pay extra money for it in Moscow.

A few words about the children's ensemble. The situation is such that it would be better for our group to come to Japan somewhere in the middle of September 1993. I ask you to consider this problem and to give your consent if it is possible.

I wish you all the best.

With love,

Vadily Yakovenko, President of the  
Socio-Ecological Union "Chernobyl"